



比企自然学校の皆さん

今回は比企自然学校の皆さんをご紹介します。

比企自然学校は比企の自然・文化を生かした持続可能な社会を目指して、平成13年に設立された団体です。地元の自然を活用した環境保全活動や交流の場づくりを長年に渡り実施してきました。



リバサポアワード授賞式の様子

「川の学校」「森の学校」「おとなの部活」を活動の軸とし「川の学校」では小・中学生を対象にした川遊び教室やお手製のカヌーに乗る体験会、「森の学校」では里山の間伐や薪割り体験、「おとなの部活」

では活動拠点の古民家再生などを行っています。

そのほか、令和元年東日本台風発生後には主な活動場所であった都幾川が氾濫し深刻な被害を目にしたことから、災害ボランティアとしても活動してきました。

それらの川の共生・保全に貢献した長年にわたる活動の功績が認められ、2月8日(土)に埼玉会館で行われた「みんなで選ぶ『リバサポアワード2024』」において「川の国貢献賞」を受賞しました。代表の櫻井行雄さんは今回の受賞について「日頃の成果が認められとても光栄に思います。遊び心を持ち、楽しみながら活動をしてきましたが、その活動で少しでも社会の役に立てていければうれいす」と話しました。

和気あいあいとした雰囲気で、これからの活動を考えるメンバーの皆さんの様子が印象的でした。今後は、営業再開を予定しているくらかけ清流の郷で、カヌー体験等を実施したいと考えているそうです。

比企自然学校の皆さん、これからも楽しみながら活動を続けていってください。



薪割りの様子



手作りのツリーハウス

まちかどスケッチ

ハートピアまつりでにぎわう



3月8日(土)・9日(日)、松山市民活動センターで「松山地区ハートピアまつり＆朝市」が開催されました。

オープニングセレモニーで、東中学校吹奏楽部による演奏が行われ、その後同施設を中心に活動している団体による舞台発表や作品展示、体験会のほかに朝市も開催されました。会場は大勢の来場者でにぎわいました。



東上線沿線サミットヘッドマークが登場



3月23日(日)、東武東上線沿線サミットヘッドマークデザインコンテスト表彰式が開催されました。コンテストには、176点の作品応募があり、厳正なる審査の結果、最優秀賞1点、サミット6自治体の賞各1点の総数7点が選ばれ、東松山市長賞は松本 邦文さんの作品が受賞されました。最優秀賞のデザインは、6月24日(火)まで実際にヘッドマークとして列車に掲出されています。東武東上線をご利用の際は、ぜひ最優秀賞のヘッドマークを見つけてみてください♪



この広報紙にあなたが写っていましたら広報広聴課へご連絡ください。写真や写真データを差し上げます。

ミニ情報

人口と世帯(4月1日現在)	
人口: 91,065人	(+ 2)
男: 45,682人	(- 4)
女: 45,383人	(+ 6)
出生(3月中): 49人	(+ 12)
死亡(3月中): 99人	(- 1)
転入等(3月中): 745人	(+ 390)
転出等(3月中): 693人	(+ 330)
世帯数: 43,803世帯	(+ 85)
*()は前月比	

交通事故発生件数(3月中)	
発生件数: 386件※	
人身事故: 36件(死者: 0人、けが人: 39人)	
物損事故: 350件	
※東松山警察署管内(東松山市、滑川町、川島町、吉見町)の件数	
火災と救急件数(3月中)	
火災件数: 3件	
救急件数: 472件(交通: 24件、急病: 323件、その他: 125件)	
搬送人員: 401人	

ごみ処理に関する情報	
今月号からごみ処理に関する情報を掲載します。	
～ごみの量(令和5年度実績)～	
市全体総排出量	28,086 t
市民1人1日当たり	843 g
詳しくは、こちら➡	
廃棄物対策課	
☎21-1401 国23-7700	市HP

元卓球日本代表 平野早矢香さんに教わる卓球教室



3月17日(月)、市民体育館で若松町商店会創立60周年の記念事業として、ロンドン五輪卓球女子団体の銀メダル獲得の平野早矢香さんを講師に招き、卓球教室を開催しました。比企地区内中学校の卓球部員約200人が参加し、平野さんからサーブの仕方、体の動かし方など実技指導を受け、貴重な体験となりました。



Let's みんなでeスポーツ



3月23日(日)、市民健康増進センターで「みんなでeスポーツ」を初めて開催しました。小学生から大人まで、ボウリング、バレーボール、ゴルフのゲームを体験しました。初めに操作説明を受け、年齢を問わず盛り上がっていました。今後、定期的に開催予定です。皆さんも参加してみませんか？

